

たまの版 CCRsea とは？

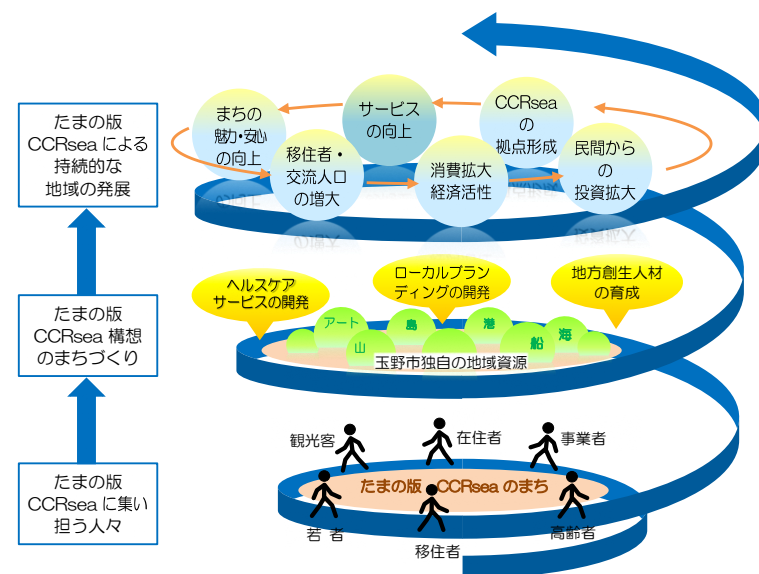
本市は「アート」「海・港・船」「ものづくり」といった“たまのオリジナル”ともいうべき地域資源と、国が示す「生涯活躍のまち※」の考え方を掛け合わせ、多世代が交流し活躍できるまちづくり『たまの版CCRsea』を進めていきます。そして、都会から本市への移住者が増えることをきっかけに、地域住民・若者を巻き込みながら、誰もがアクティブで生きがいに満ちた生活を送れる魅力的な地域社会の形成を目指します。

※「生涯活躍のまち」…東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」へ移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域のこと

たまの版 CCRsea が目指すもの

本構想は、高齢者や移住者のみならず、学び、働く若者や地域住民、事業者などのそれぞれが持つ知見や知識、技術等を活かし、さらにはたまのオリジナルの地域資源と組み合わせることで、本市に活力と新たな価値を生み出していくことを目指しています。

これにより、たまの版 CCRsea としての拠点形成が進み、まちに新たな魅力が加わることで、さらに多くの人が集まるようになることが期待されます。それが消費の拡大、民間事業者による投資の誘発（新産業の創出）へとつながり、地域経済の好循環を生み出していく…この好循環の形成こそが、持続的に地域の発展を実現する本構想の目指す将来像です。



▲ たまの版 CCRsea が目指す将来像（好循環の形成）

たまの版 CCRsea の基本方針

1 「たまのオリジナル」を活用し、玉野らしさを追及する

本市独自の資源（＝「たまのオリジナル」）を活用した新たな産業・サービスの創出により、民間投資の誘発、雇用促進、消費喚起等の経済効果につなげることで、地域の活性化を推進します

2 若者が軸となる新たなまちづくりを実践する

生涯にわたって活躍できる魅力的な地域社会を形成するため、高齢者のみならず、若者等の多様な世代が、それぞれの強み・活力を発揮し、ともに活躍できる場を提供し、まちづくりの中心となる人材の育成を推進します。

3 市全域への効果の拡大を図る

新たに実施する取組やサービスの展開は中核エリアのみで完結させるのではなく、中核エリアにおける生涯活躍のまちの形成によって多様な取組をエリア外にも展開し、段階的に市全域に効果を拡大させていきます。

4 誰もが安心して暮らせる地域共生社会の推進を図る

移住者や地域住民、若者、障害者等の様々な人が世代や分野を超えて共存し、一人ひとりの暮らしや生きがいを大切にしたい地域をつくることで、誰がどのような状態になっても支えあうことができる地域共生社会の実現を推進します。

5 事業推進主体を中心とし、官民連携により構想を推進する

本構想は行政だけの取組とするのではなく、民間企業や関連団体のノウハウや経験、人材、資産を活用し、民間活力を最大限引き出すことで、運営推進機能を担う「事業推進主体」や地域関係者と連携しまちづくりを進めます。

たまの版 CCRsea における主な取組

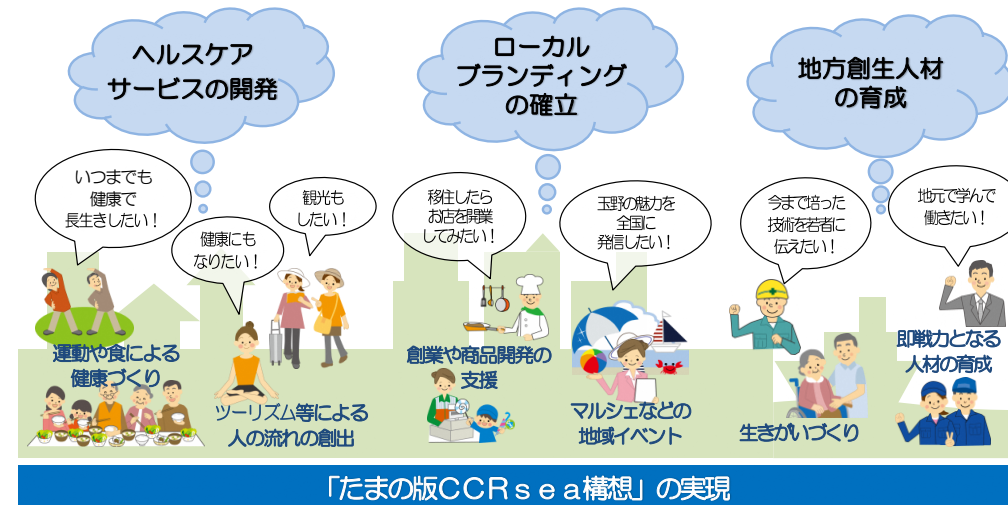
たまの版 CCRsea のコンセプト

アート、海・港・船、ものづくりを活かした多世代交流と活躍のまちづくり

たまの版 CCRsea は、高齢者や地域住民の健康長寿・生涯活躍のための環境を整備することで新たな人の流れを生み出し、遊休資源の活用や新たな産業の創出といったまち全体への効果波及を目指しています。そこで「ヘルスケアサービスの開発」、「ローカルブランディングの確立」、「地方創生人材の育成」の3本を主たるアクションプランとし、コンセプトに基づく構想の実現を進めていきます。

元気な高齢者のニーズ		キーワード
ライフスタイル	・趣味やレジャーなどを楽しめる	趣味・レジャー
	・健康でアクティブな生活を送る	健康増進
	・リタイア後、飲食業等の創業をする	医療・介護
	・地域貢献ができる	就 労
サービス	・生涯学習などの社会活動に参加する	地域貢献
	・医療・介護などが確保される	生涯学習
	・生活支援がある	移住支援
	・住まいが確保される	生活支援
立地・居住環境	・移住希望者に対してきめ細やかな支援がある	交 流
	・「お試し居住」など機会の提供がある	
	・温暖な気候、自然環境に恵まれている	
	・子どもや若者など多世代と交流できる	
	・入居者や地元住民が交流し活動できる	

内閣府「生涯活躍のまち」構想に関する手引き（第3版）等より



ヘルスケアサービスの開発

移住者や地域住民が健康で楽しく暮らすためのヘルスケアサービス（健康維持・疾病予防等）や、「たまのオリジナル」を活用し観光客の療養効果をもたらすようなヘルスケアサービスの開発に取り組みます。



ローカルブランディングの確立

「アート」「海・港・船」などを活用した観光ツアーや瀬戸内海の特産物を使った健康食の開発など、地域資源の再生・高付加価値化を進め、本市独自の「地域ブランド」を全国へ発信していきます。



地方創生人材の育成

高齢者から若者へ、ものづくりのまちとして技術継承に留まらず、アートや趣味・歴史などの様々な分野で知識やノウハウを継承し、人材育成を進める仕組みづくりを行います。

